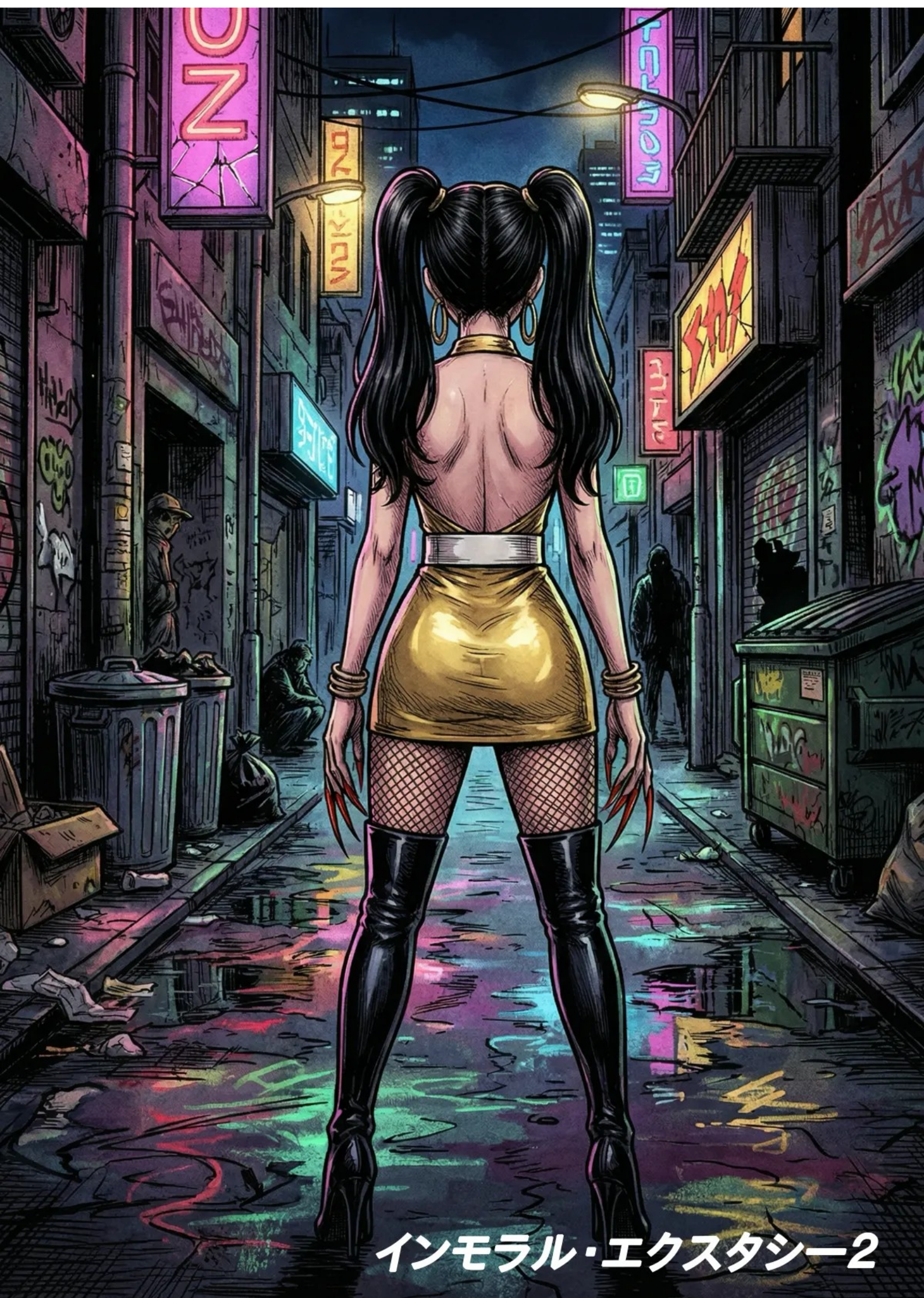


# IMMORAL EXTACY

インモラル・エクスタシー ②





インモラル・エクスタシー2

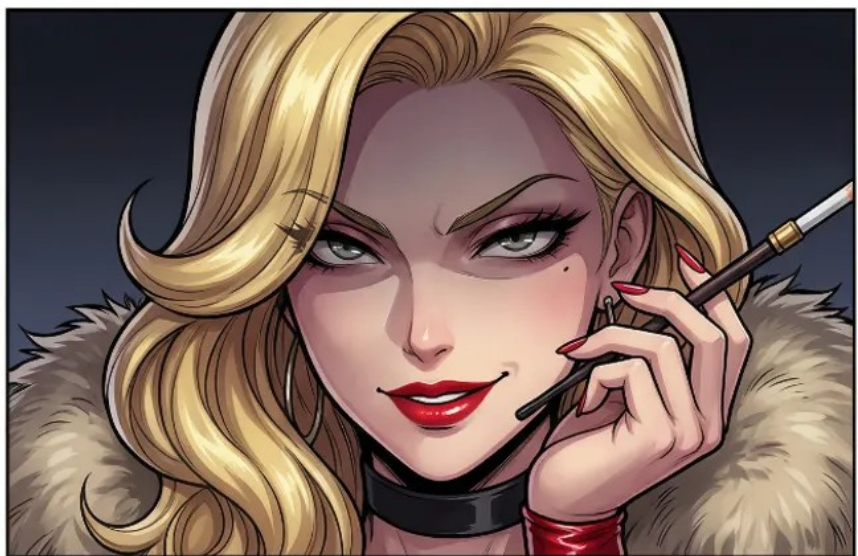
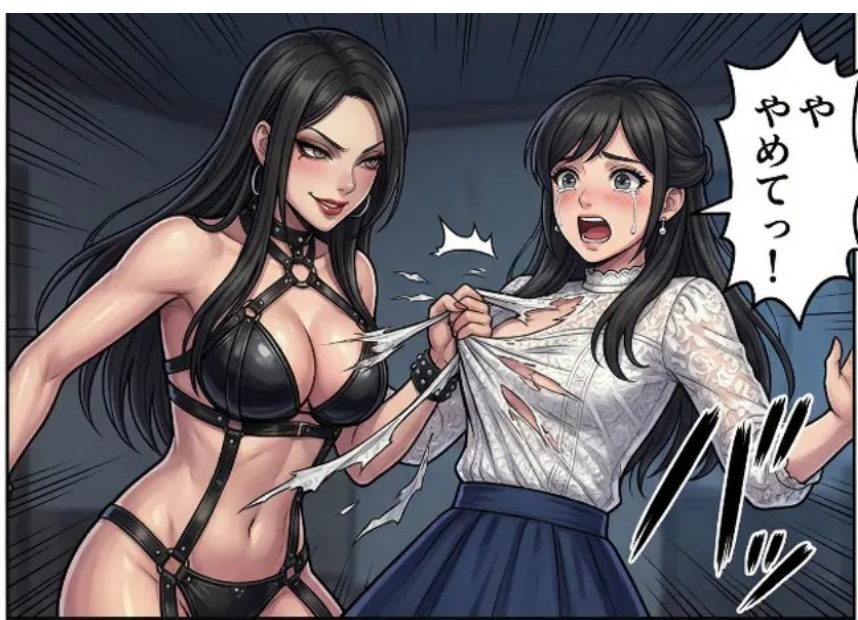
## 前回までのあらすじ

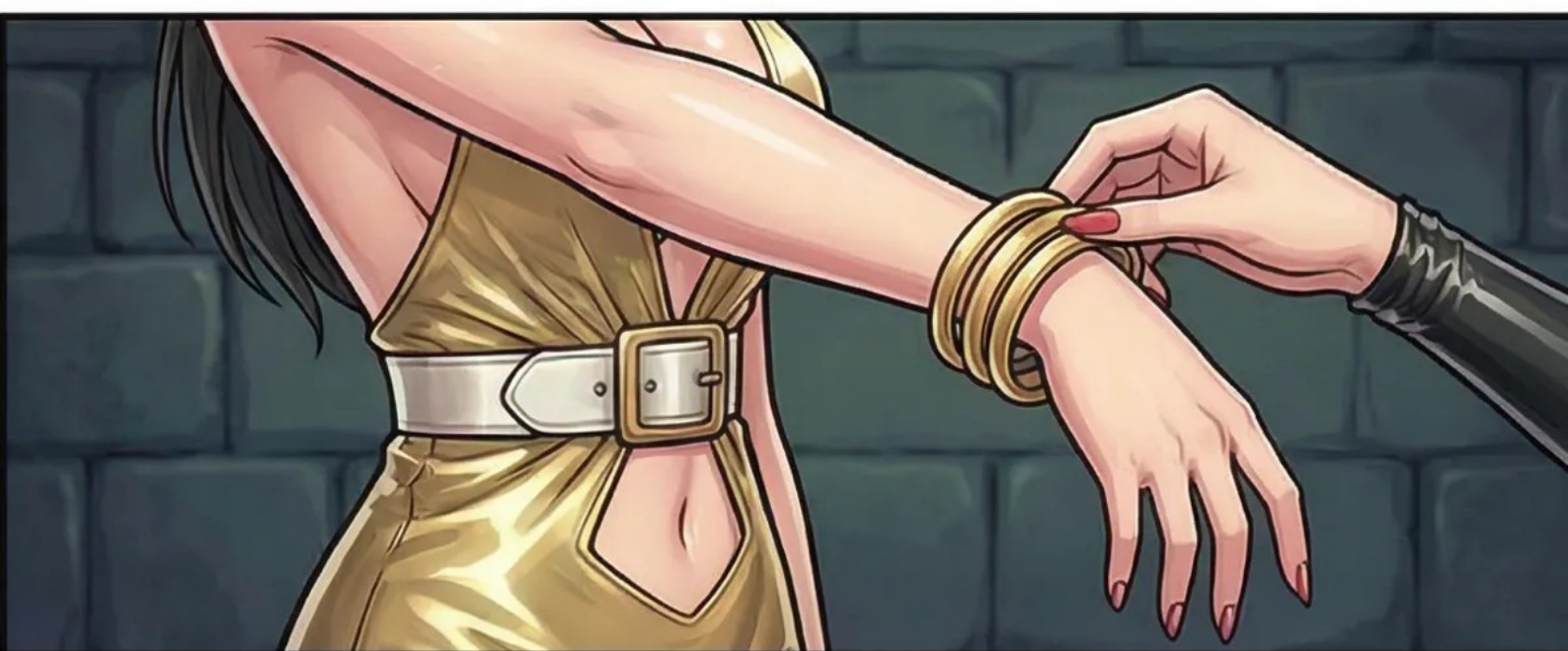
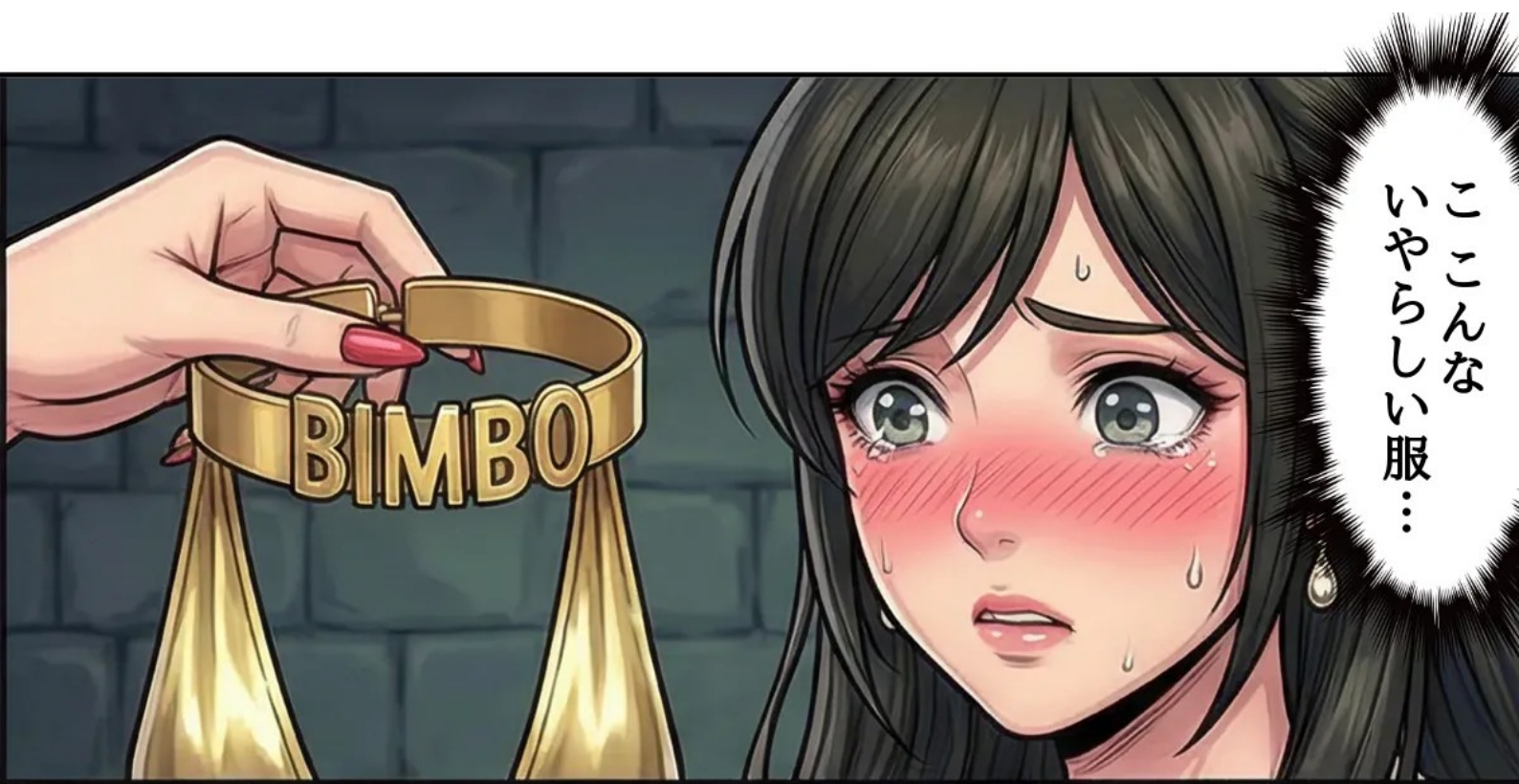
犯罪組織ルーラーズに牛耳られてしまったウルグシティ。思うがままに暴力を振るい快楽を貪るルーラーズによって 住民たちは怯えながら暮らす日々を送っていた。

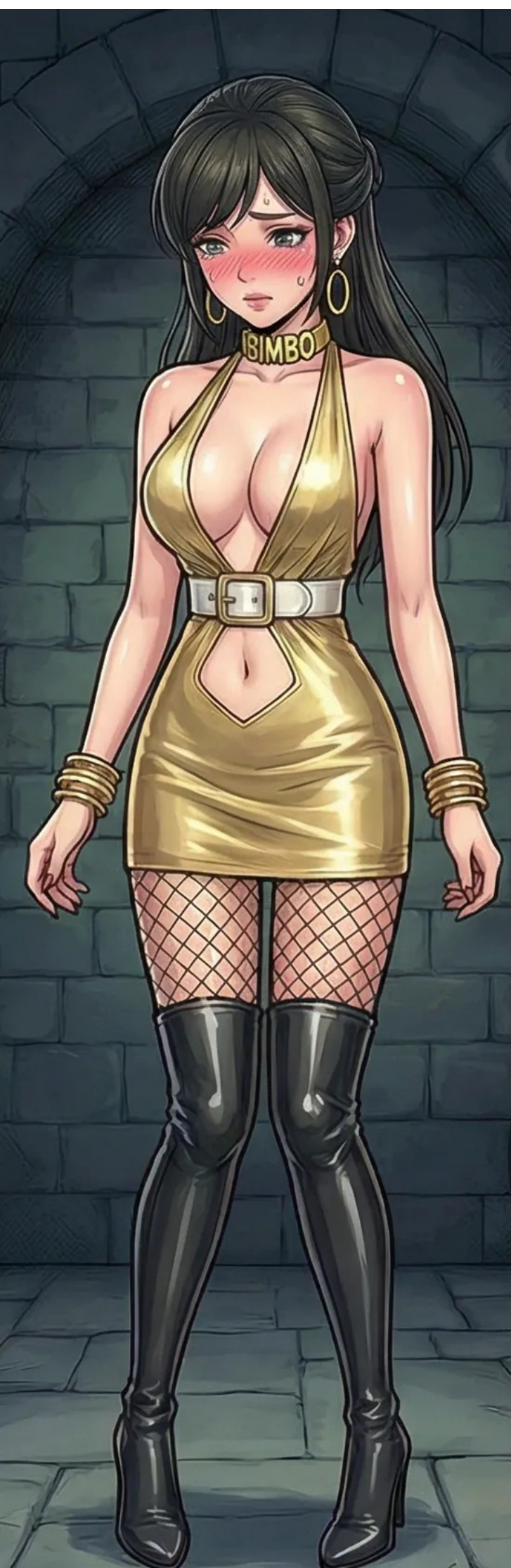
街に住む青年コウが姉の様に慕う 強く優しき女性のカエラ。そんな彼女がルーラーズ幹部モーリーによって魔薬『インモラル・エクスタシー』を打たれてしまい ルーラーズの一員と化してしまう。そして身も心も悪女と化したカエラの手によってコウの幼馴染の少女ミーナが捕らわれてしまう。

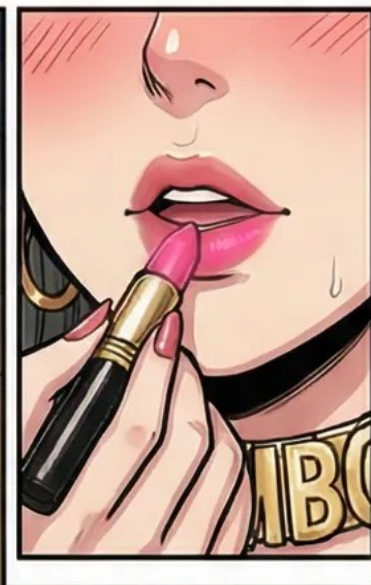
ミーナがルーラーズの幹部であるマリィの元に居ると推察したコウは女警官レイと共にマリィのアジトへと向かう。そこで出会ったビビアンもまた『インモラル・エクスタシー』によって精神を邪悪に歪められた被害者であった。かつてはフィリーという善良な女性であったビビアンはルーラーズの構成員たちを従えコウたちに襲い掛かるのであった。







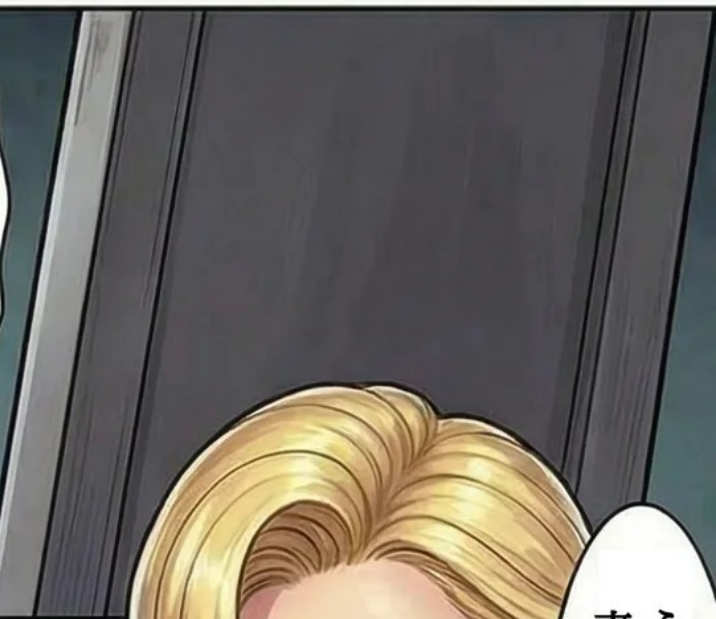






こんな…は…  
恥ずかしい…

い…いや…



ふふっ  
素敵じゃないの



見た目だけじゃなく  
心の奥底まで淫らで  
邪悪な女にしてあげる



身体が…  
熱い…!!



いやよ…  
そんな風になんて  
ならないわ…!!



そんな事いいながら  
そのいやらしい姿に  
興奮しているんですよ



コウ…お願い…  
助けて…!!

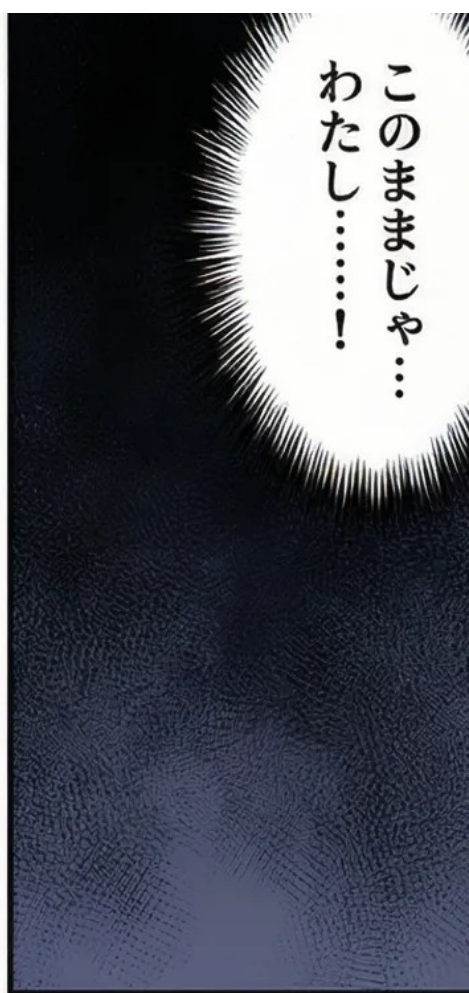


『インモラルエクスタシー』を  
もう一本打ってあげる  
それですらない  
道徳観や倫理観は  
すべて消え去るわ



ウウ…

ウウ…



このままじゃ…  
わたし…!!



ファイリーさん  
観念しなさい



へえ  
やるじゃないの

あなた達を  
みくびっていたわ



ビビアンよ

ふふ  
私の負けね

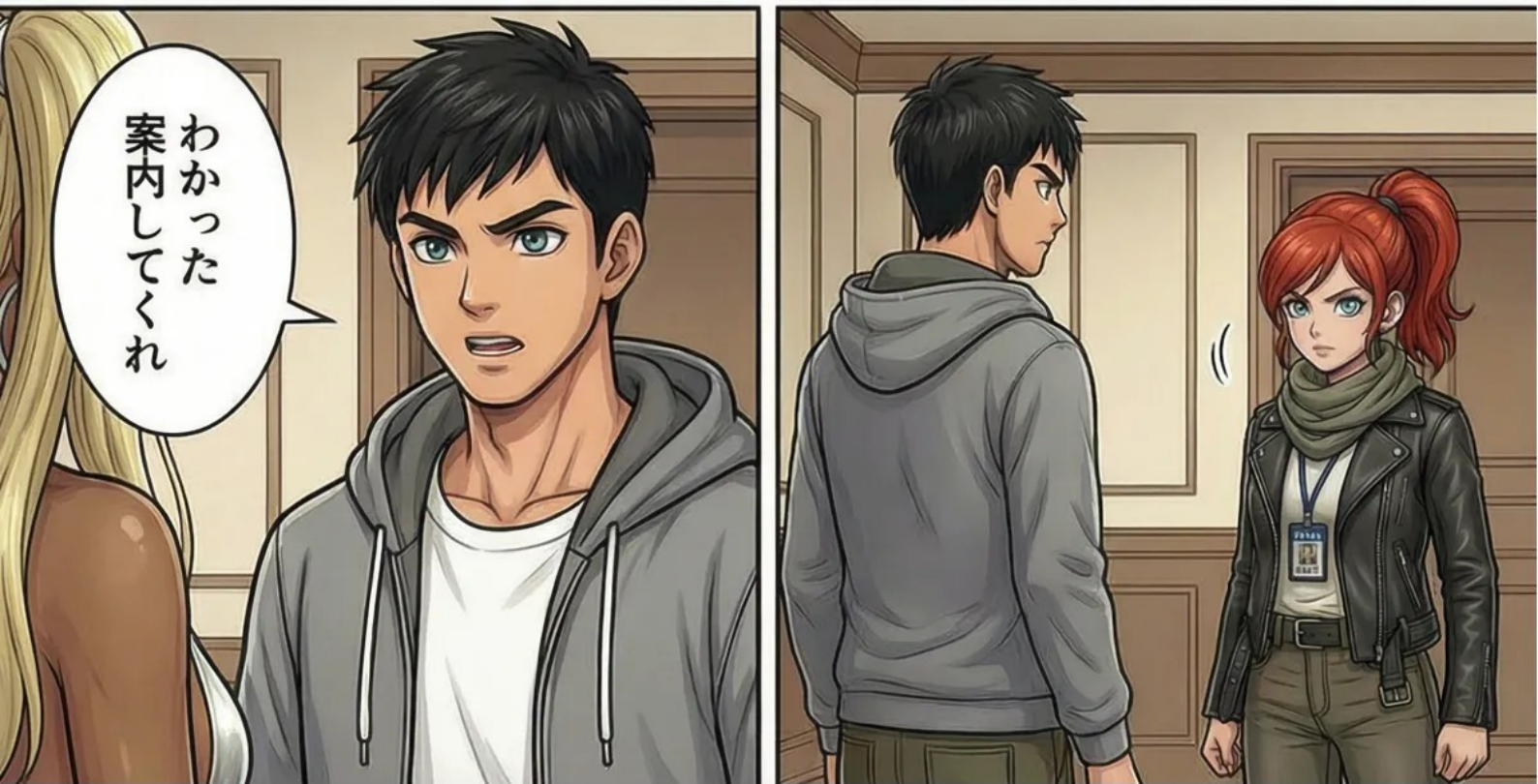
わかったわ  
マリイ様のところに  
案内するわ



本当か  
騙すつもりじゃ…

信じないなら  
それでもいいわ

今頃ミーナって娘が  
どんな目にあっている  
事かしらね



わかった  
案内してくれ







あらビビアン  
お客様かしら？



ミーナ！



はいこの娘の  
知り合いとか？

へえ  
アイヴィの  
知り合い？



起きなさい  
アイヴィ

はい  
マリイ様



アイヴィ？  
何言ってるんだ！  
この娘はミーナだ！

お前ミーナに  
何をした!?



ミーナっ！  
オレだ…！  
コウだ！



マリイ様…  
わたしにもっと…  
もっしててください…



うふふ…何を  
言ってるのかしら  
ねえアイヴィ…

え…  
わ…わたしは…



え…  
ココウ…？



ママリイ様…

マリイ様…  
わたしは…



そんな奴の声を  
聞いちゃダメだ！

違う！  
おまえはミーナだ！



コウを…  
裏切る…そんな

ああ…



あの男を裏切り  
絶望させるのよ

そうすればあなたは  
更なる快楽を  
得られるわよ



この娘に打った  
『インモラル・  
エクスタシー』は

その人物の持つモラルに  
反する行為をする事に  
快楽を感じるの



ミーナ…!  
聞いちゃダメだ!



最後は全ての  
モラルを捨て去り  
生まれ変わるのよ

邪悪な人間に



そ…  
そんな…



だからモラルの希薄な人間より  
この娘の方がより強い  
快楽を得られる

そして快楽のために  
自身のモラルを  
捧げていくのよ



わわたしが  
コウを...

そ...そんな事しては  
ダメよ...コウを...  
コウを撃つなんて...!



さあこの男を  
撃ち殺しなさい  
この男がもがき苦しむ  
姿を想像すると  
興奮するでしょう

そっ  
そんな...



ギィ...

スツ...



でも...  
想像しただけで...  
こんなに気持ちよく...



ミ…ミーナ…



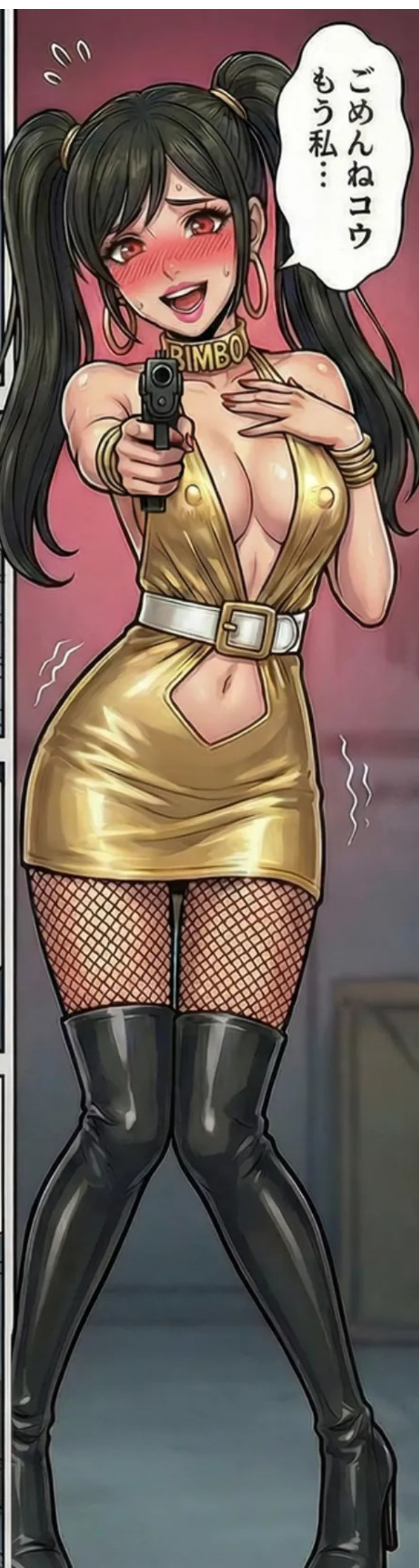
コウ…  
いったん  
逃げるわよ!



じふふ…



くっ…  
ミーナ…!



ごめんねコウ  
もう私…





コウ  
落ち着いて



ミーナちゃんやファイリーさんは  
『インモラル・エクスタシー』  
というクスリでおかしくされて  
しまっている



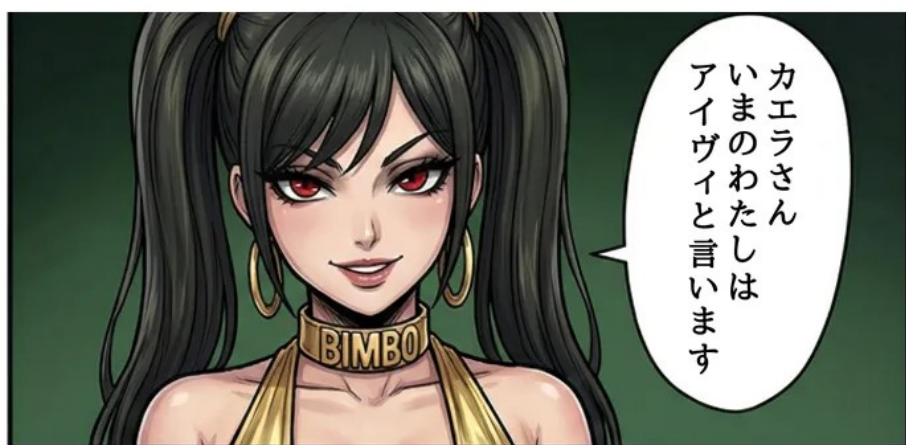
でも  
どうやって…



だから  
まずは被害者たちを  
元に戻す必要があるわ



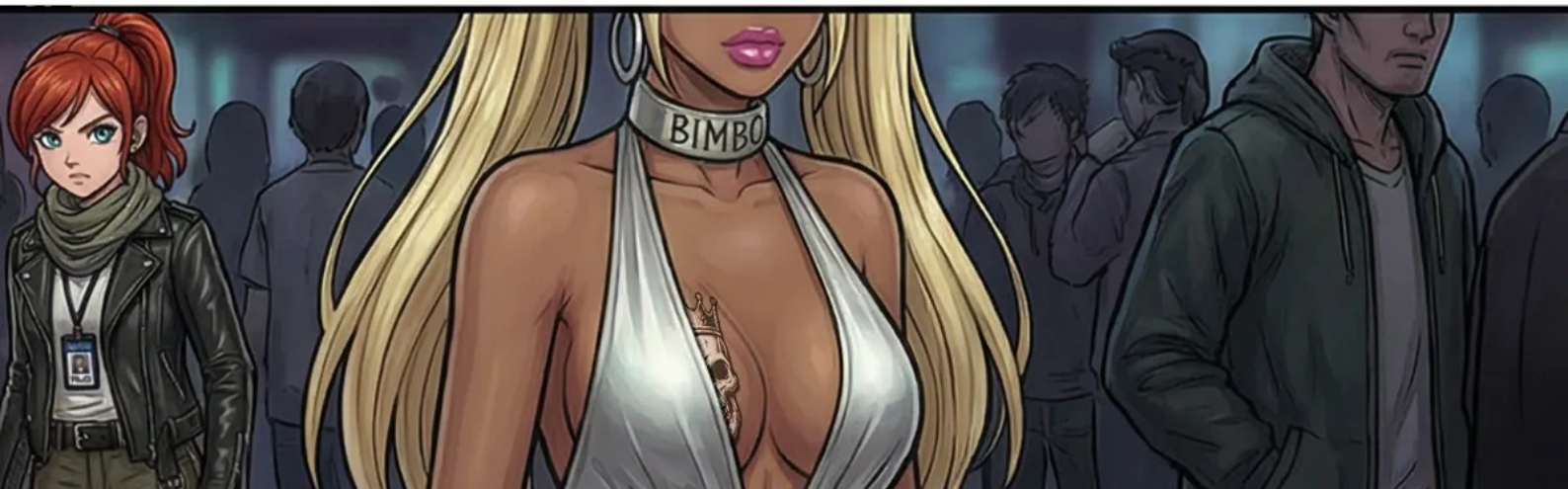


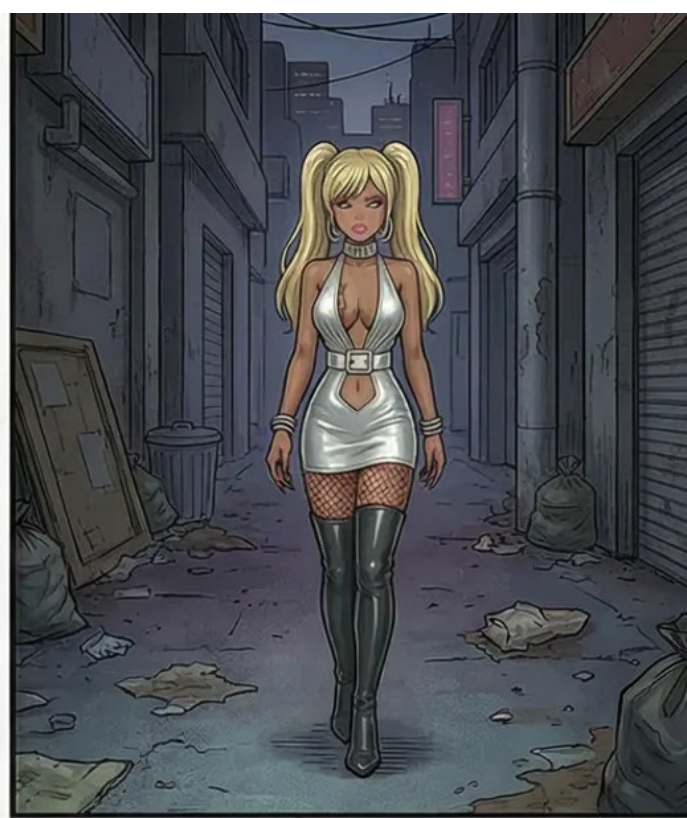




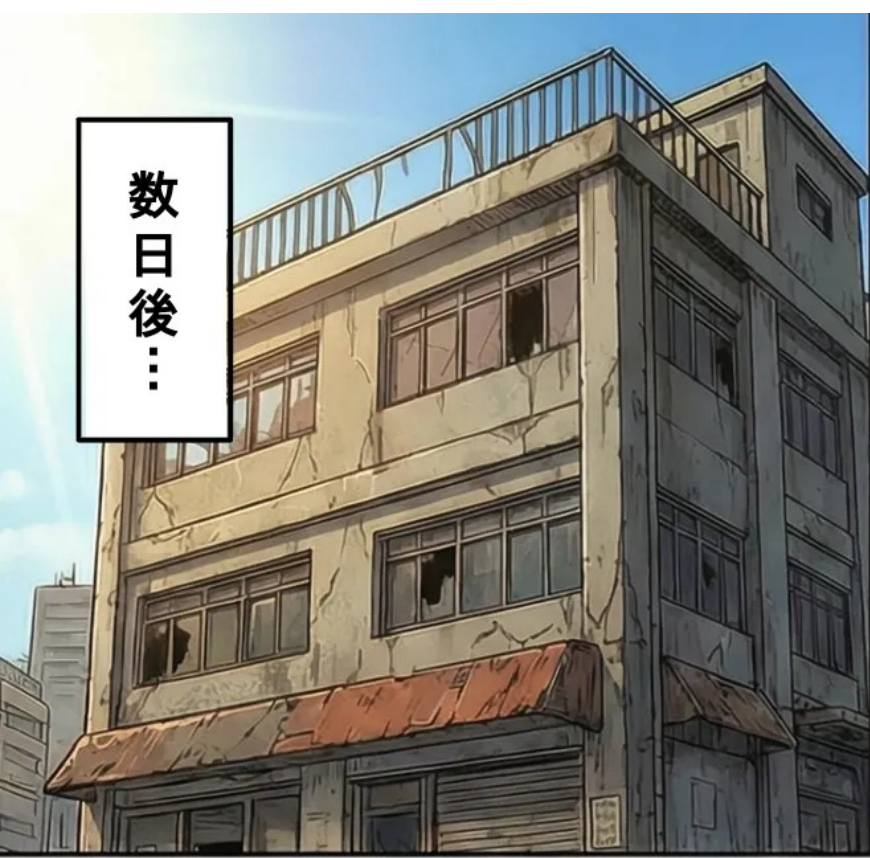


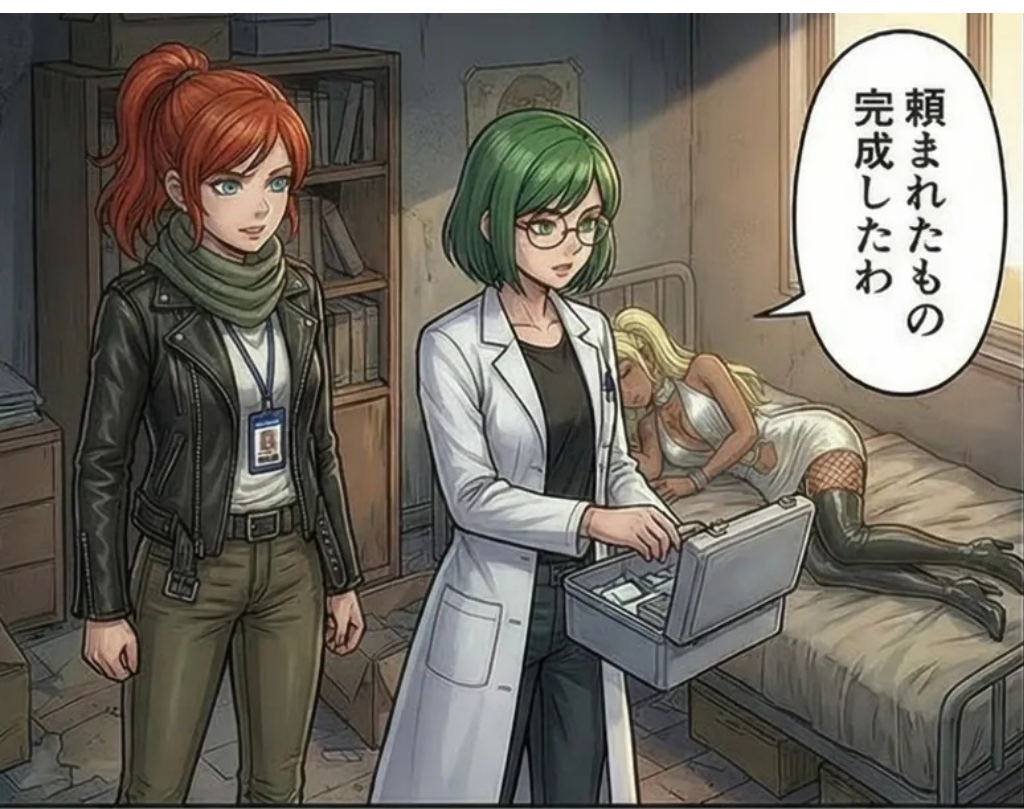






数日後…





頼まれたもの  
完成したわ



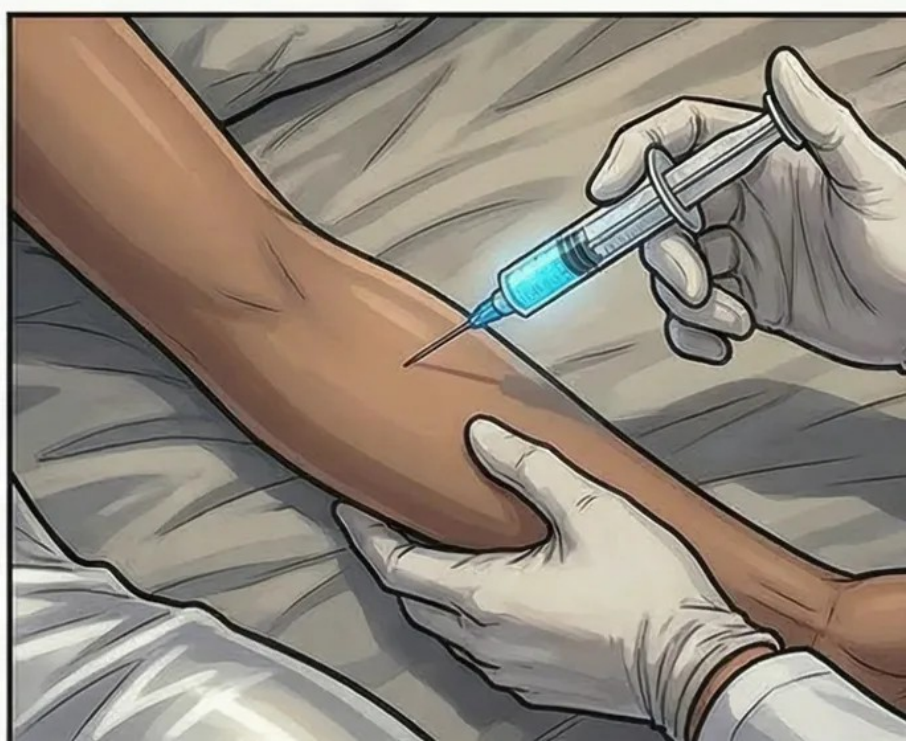
これでファイリー  
さんも元に…



被験体の血液を  
解析して作った  
解毒剤よ

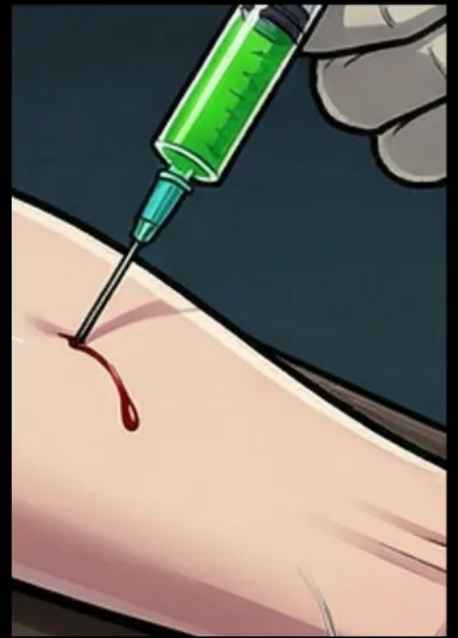


ん…











フリーさん



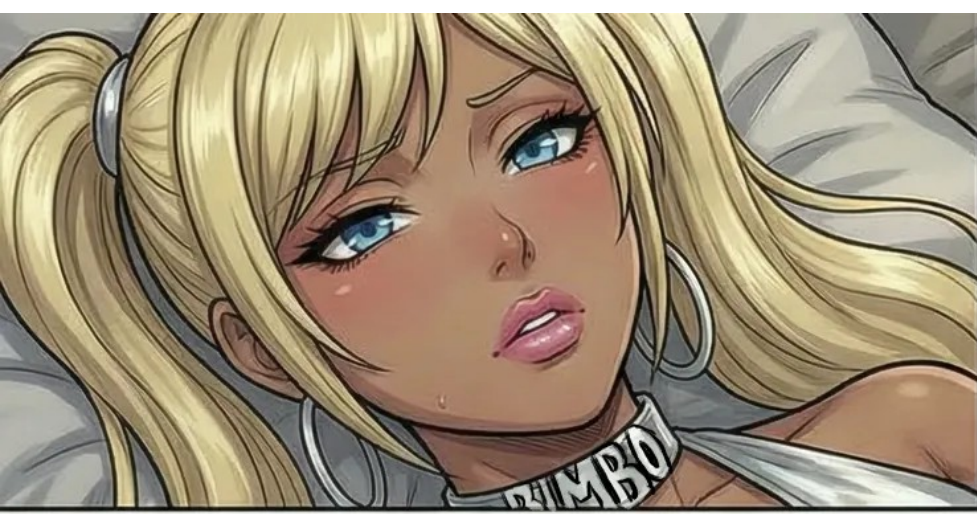


わたしはビビアン



フリーさん!





わたしは…



フィリーさん!



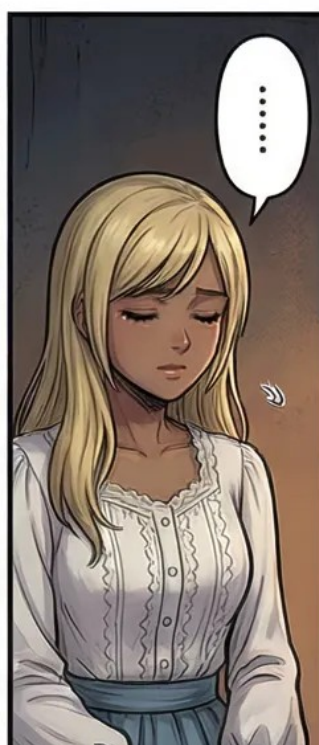
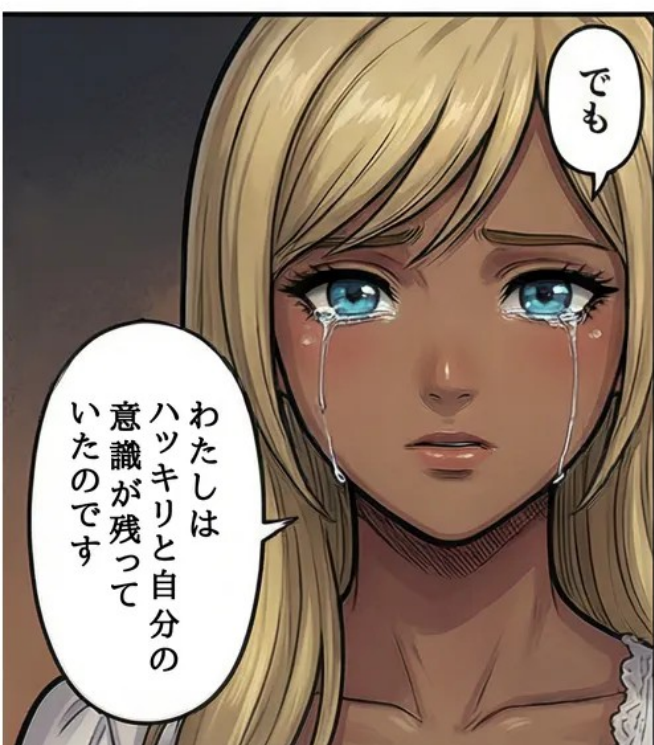
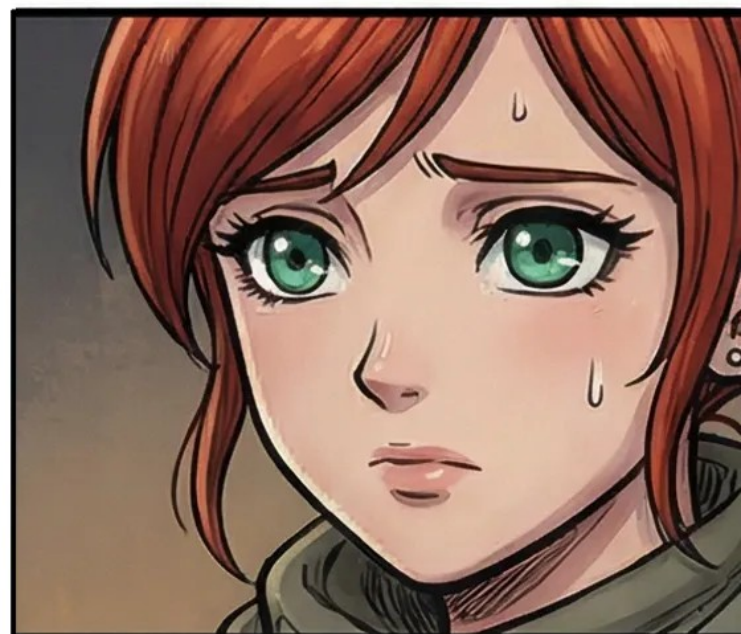
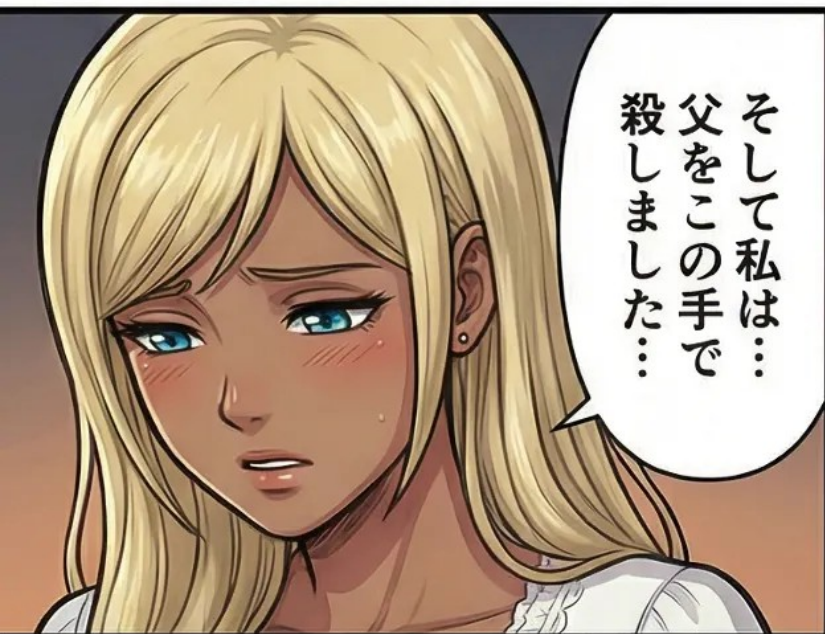
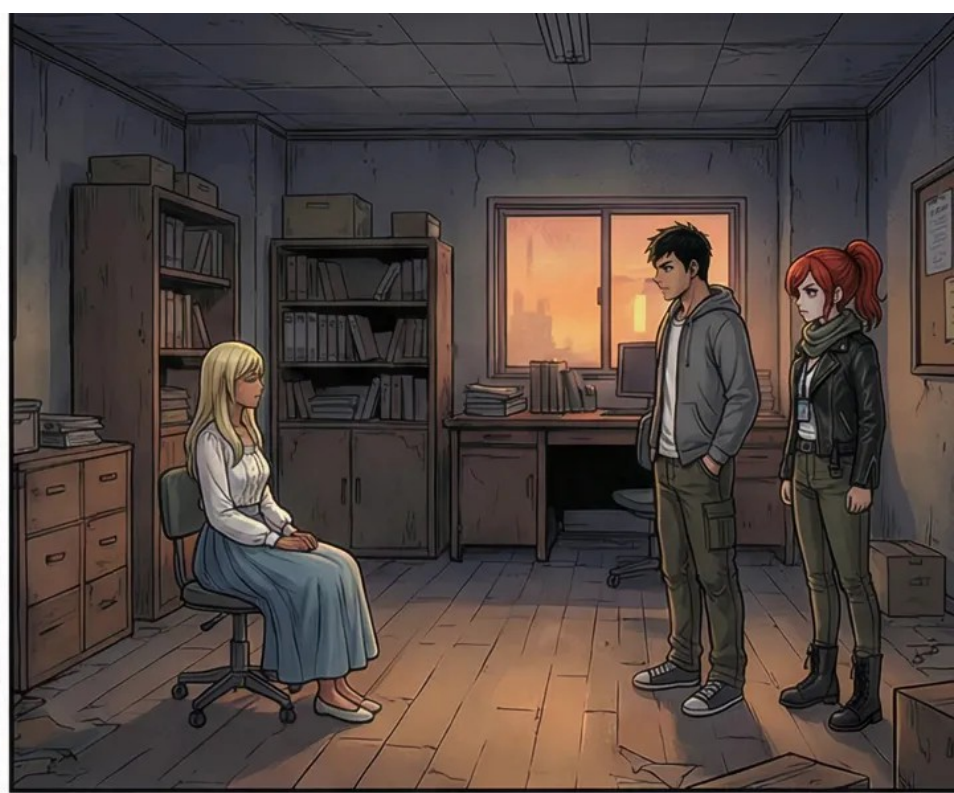
フィは…

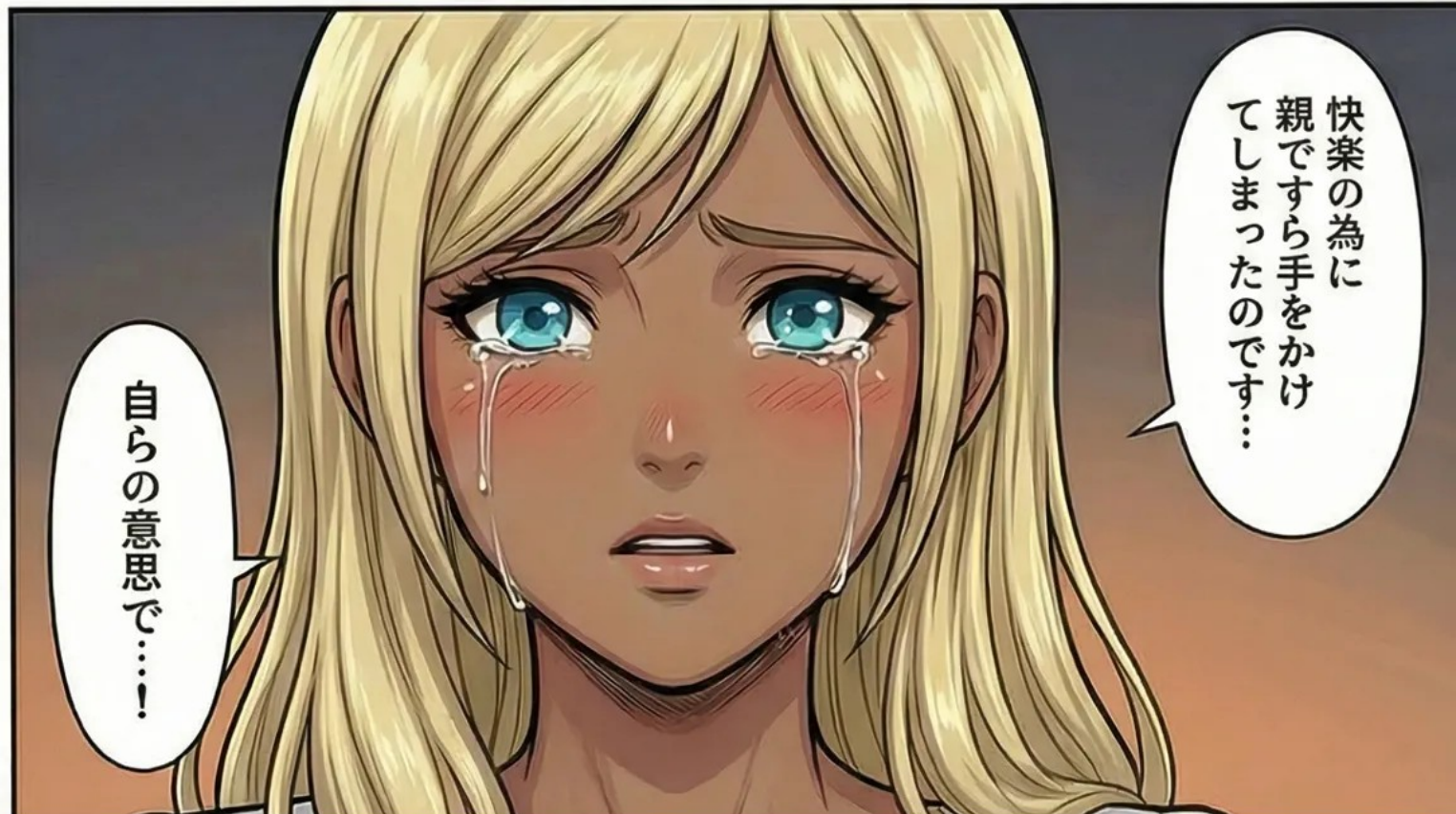


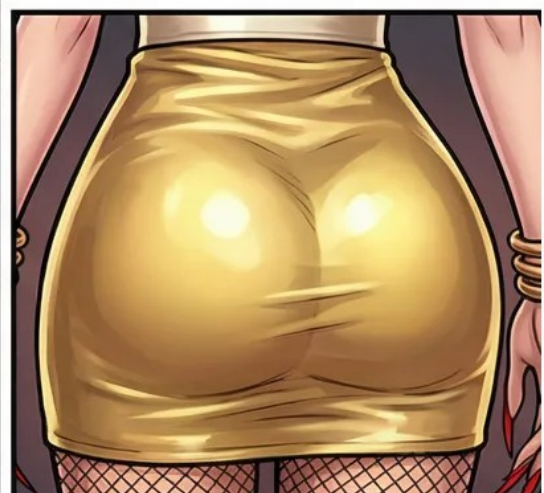
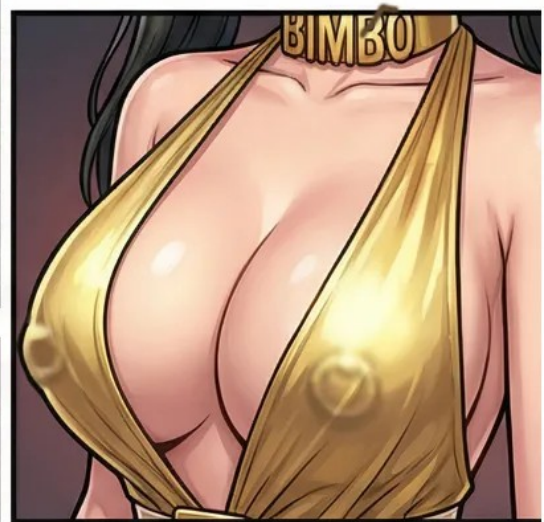
よかった!  
意識が戻ったのね













ますます  
素敵な身体に  
なったわね  
アイヴィ



はい  
こんな素敵な世界が  
あるなんて  
知りませんでした



わたしは  
ルーライズの  
アイヴィ

ふふっ  
コウが今のわたしを  
見たらどんな反応を  
してくれるかしら

続く



コウ…お願い…  
助けて…!



『インモラルエクスタシー』を  
もう一本打ってあげる  
それくだらない  
道徳観や倫理観は  
すべて消え去るわ



あ…ああ…




熱い…  
こ…こんなのっ…

か…身体が



どう  
気分は？




うふふ  
気持ちよさそうな  
顔になっているわよ

そんなあなたに  
良いものをあげるわ



そつ  
それは……！




どうっつ？  
たまらない  
でしょうっ？



あっ！

あんっ  
あぁーっ！！



だっ…だめえっ！  
こんなの…き…気持ち…  
気持ちよすぎでっ  
頭が…壊れるうっ！！

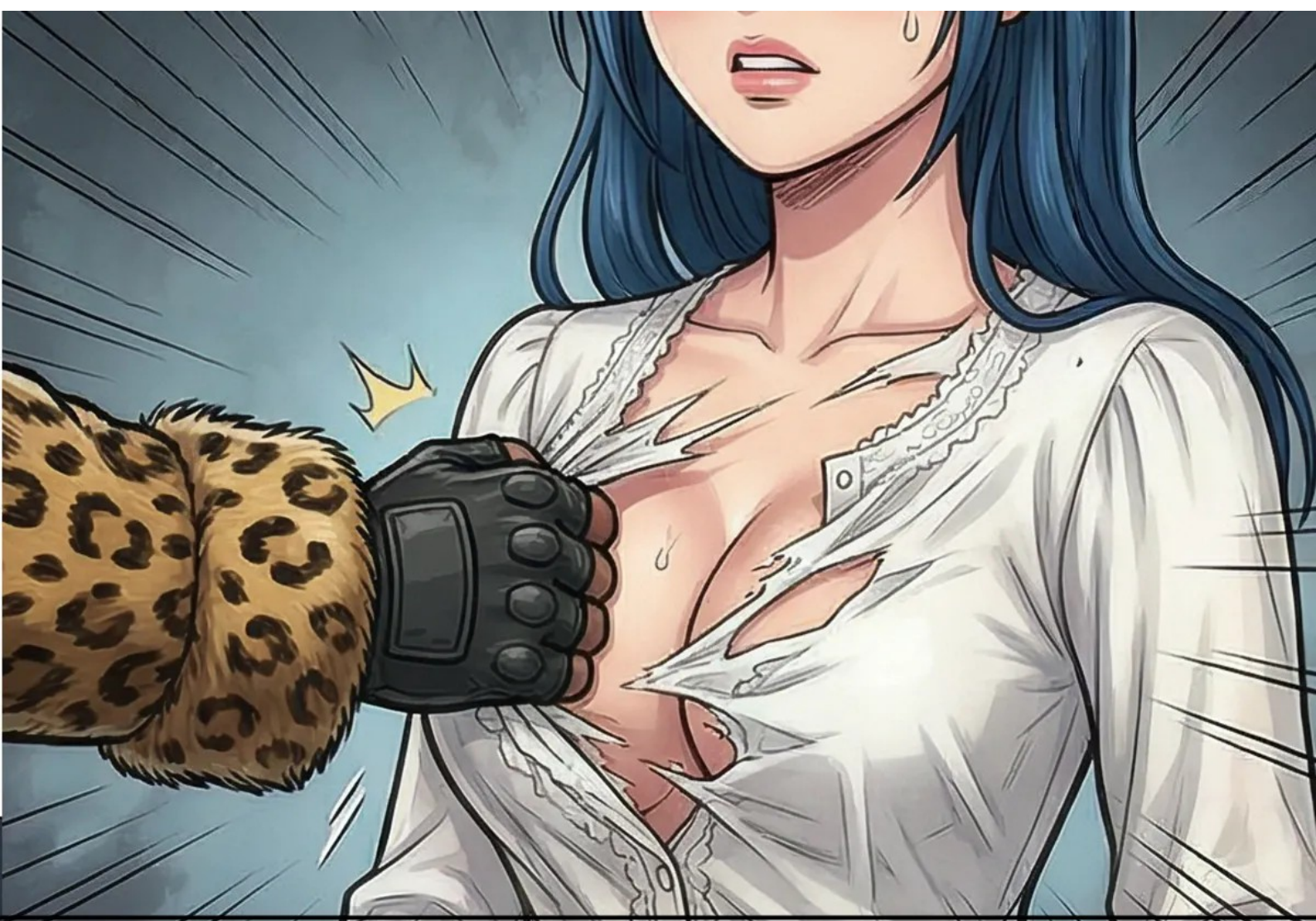
あーっ!!

ああつ!  
ああんー!!

だっ…だめっ!  
こんな快樂…す…  
凄すぎる…!  
た耐えられない…  
耐えられる訳が  
ないんっ!!







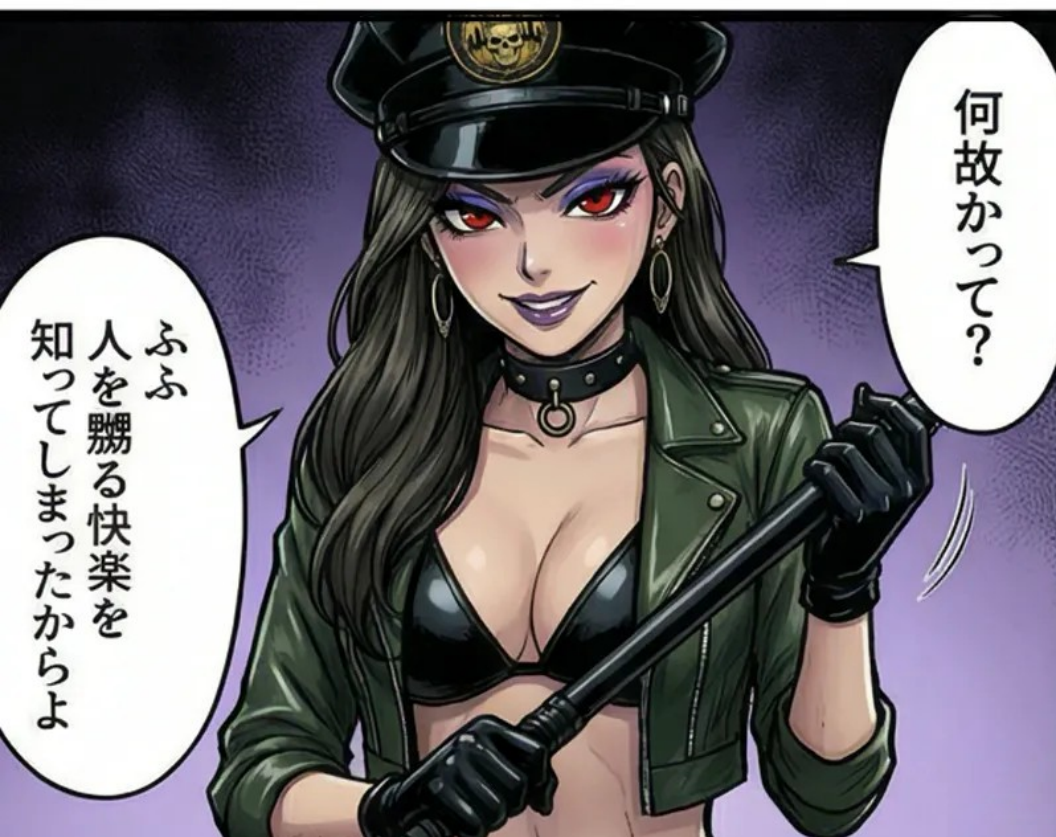




# IMMORAL EXTACY

インモラル・エクスタシー 2.5









あんっ!  
ああんっ!

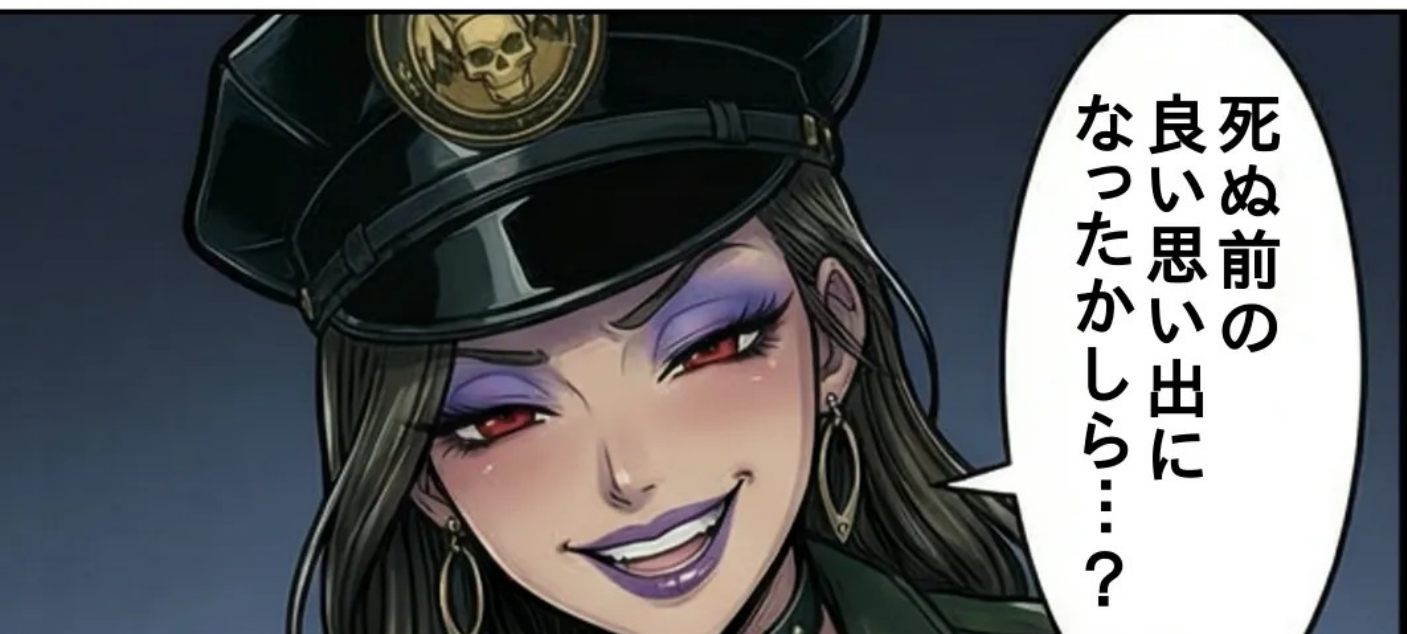
うっうー!

気持ちいい  
ーっ!!



うう...

も...  
もう...





ほんとひ弱な  
男ぱっかりで



おいおい  
また殺しちゃったのか  
カエラ?



カエラ  
お前にうって  
つけの仕事が  
仕事があるぞ  
捕らえた反ルーラーズ  
のゴミ共を拷問して  
奴らのアジトを  
吐かせるのだ



くくっ  
以前のお前からは  
想像もつかねえ  
セリフだな



すっかりルーラーズの  
一員と化したカエラは

植え付けられた邪悪な  
精神を携え今や  
反ルーラーズにとって  
恐怖の存在となっていた



素敵!

ぜひ私に  
おまかせを

インモラル・エクスタシー3  
に続く